

1 2. 令和4年度 神奈川県てんかん地域診療連携体制整備事業活動報告

聖マリアンナ医科大学病院 てんかんセンター
顧問 山本仁 副センター長 太組一朗

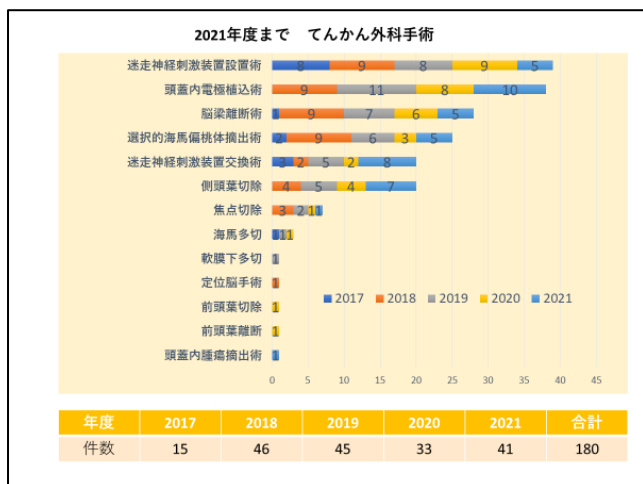
1. 神奈川県てんかん支援拠点病院としての取り組み

神奈川県支援拠点病院では、難治てんかん患者への高度な治療の提供、複数科からなる包括的な医療の体制の整備、専門医・コメディカルの育成等を引き続き行ってきた。また、拠点病院を中心として、てんかん診療に関わる医師、政令市代表、精神保健福祉センター、医師会、労働局、SW、患者、家族等をメンバーとしたてんかん医療・社会連携協議会を運営し、県民に向けて普及啓発活動や医療、福祉関係者への研修等を行ってきた。ホームページや行政の広報、新聞等のメディアを通じて、拠点事業やてんかんセンターに関する情報発信にも力を入れている。

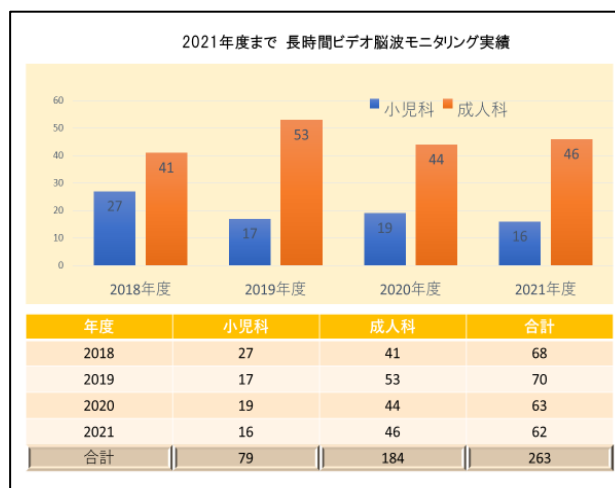
2. 支援拠点病院診療実績

てんかん外科手術：2018年度45件、2019年度45件、2020年度33件、2021年度44件。
内訳は（資料1）。長時間ビデオ脳波モニタリング：2018年度68件、2019年度70件、2020年度63件、2021年度62件（資料2）。今年度は2月までで、てんかん外科手術25件、長時間ビデオ脳波モニタリング51件となっている。年末に新病棟への引っ越しと、電子カルテの入れ替えがあり、12月、1月は外科手術、モニタリング共にストップしていたため、今年度は例年より少ない実績となる見込みである。てんかん受診外来患者数（延べ人数）：2018年度17,126人、2019年度16,354人、2020年度14,658人、2021年度15,950人。入院患者数（延べ人数）：2018年度358人、2019年度485人、2020年度407人、2021年度433人。紹介件数：2018年度422件、2019年度442件、2020年度420件、2021年度462件。2020年度はコロナの影響で患者数、紹介数が減少していたが、2021年度以降は増加している。紹介患者に関しては、川崎市、横浜市からが多数を占めるが、横浜市、川崎市以外の地域からの割合も増加傾向にある。紹介元の医療機関数は2018年度の255施設を起点として2019年度には168施設増加、2020年度には135施設増加、2021年度には102の新たな施設から紹介があり、4年間で延べ648施設となっている。てんかん診療支援コーディネーターが担当しているてんかん相談件数については2018年度100件、2019年度275件、2020年度180件、2021年度は207件となっている。今年度は1月までで前年度を上回る相談件数があり、支援拠点病院の相談窓口の認知が広がっている。てんかん相談窓口はインターネットで情報を公開しているため、相談者の居住地域は広範囲にわたり、県外からの相談も多い。

(資料 1)



(資料 2)



3. 啓発活動

神奈川県では、例年通り年2回の「てんかんの研修会・市民公開講座」を実施する予定である。市民公開講座はZoom ウェビナーを使用したオンライン形式とした。また、YouTube を使用し、オンデマンド視聴も可能にした。県の協議会では度々学校教員への啓発の必要性について議論されてきたが、11月に実施した研修会・市民公開講座(資料3)については、神奈川県の協力を得、教育委員会を通じて各市町村の小、中、高、養護学校、支援学校へ周知した結果、多数の教員の参加につながり、全体では500名を超える申し込みがあった。3月には2回目の「てんかんの研修会・市民公開講座」の実施を予定しており、「難治てんかん」をテーマとしたプログラムを組んでいる。(資料4) また、毎年実施しているパープルデーライトアップについても、3月に例年通り行う予定となっている。(資料5) 県内6施設での実施を予定して

(資料 3)

てんかんの研修会 市民公開講座 WEB開催 要申し込み

【同時開催】難治てんかん患者さん個別WEB相談会

実施日時 **2022年11月20日(日)**
13:00~15:15

Zoomウェビナーオンライン開催 ※後日YouTubeにてオンデマンド配信予定
【てんかんの研修会】
※主に学校、医師、福祉関係者等を対象とした内容ですが、ご自宅でもご覧いただけます。

13:00~13:45 質疑応答 13:45~14:00 ※チャット機能でご質問をお受けします

座長 岩崎 俊之 先生 聖マリアンナ医科大学 小児科教授
川崎市立多摩病院 小児科部長

講師 須貝 研司 先生 聖マリアンナ医科大学 小児科学専攻教授
ソレイユ川崎 副学長

「学校でのてんかん発作の対応」

【てんかんの市民公開講座】

14:15~15:00 質疑応答 15:00~15:15 ※チャット機能でご質問をお受けします

座長 野々田 豊 先生 北里大学常務 小児科学部長
北里大学病院 小児科 在宅支援部門

講師 山本 寿子 先生 聖マリアンナ医科大学 小児科学講師
聖マリアンナ医科大学 脳神経外科 脳脊髄神経科 小児科部長

「てんかんと発達障害」

研修会・市民公開講座お申し込み・お問い合わせ
専用フォームURLがQRコードからアクセスしお申し込み下さい
<https://forms.gle/2oebz00m3a5w6tbnar>
<https://forms.gle/2oebz00m3a5w6tbnar>

【問い合わせ】聖マリアンナ医科大学病院 てんかんセンター
電話：044-977-8111 (内線80605) 担当石丸 (月~金 9:00~16:00 土日を除く)
メール： tenkan@stmaria.ac.jp

【難治てんかん患者さん個別WEB相談会】 Zoom利用 伊勢会・公開講座と11月20日 午前9時00分

てんかん専門医による難治てんかん患者さんへの個別相談会を電話開催いたします。
10:00~12:00の間で8~10名程度、お一人様15分程度 定員に達し次第終了
相談費 無料 医師 聖マリアンナ医科大学 脳神経外科 脳脊髄神経科 小児科部長 石丸 寿子 先生
※第一着先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経外科 脳脊髄神経科 小児科部長 石丸 寿子 先生
専用フォームURLと、QRコードがPDF形式でダウンロードできます。

個別相談会専用申し込みフォーム：<https://forms.gle/2oebz00m3a5w6tbnar>

主催：神奈川県てんかん協会・社会連携協議会 聖マリアンナ医科大学病院 (神奈川県てんかん医療センター)
後援：公益社団法人 神奈川福祉協会 公益社団法人 日本てんかん協会 神奈川福祉協会

県内6施設での実施を予定して

1 月には神奈川県労働局と協同し、ハローワークの職員に向けて、てんかんの研修を実施し好評を得た。神奈川県では県労働局も協議会に参加しており、協力も得やすく、引き続きてんかんの就労問題に積極的に取り組んでいく。

4. 協議会

てんかん診療に関わる医師、県、政令市の代表、精神保健福祉センター、医師会、労働局、SW、患者、家族等をメンバーとしたてんかん医療・社会連携協議会を年2回実施している。(表1)今年度は8月に行い2回目は年度末の3月に実施を予定している。協議会では事業の実施計画や報告、啓発の方向性や、県内のてんかん診療連携の問題点等、様々な議題を取り扱っている。ここ2年ほどはZoomを使用しオンラインで会議を行っている。協議会のメンバーに県や政令市の担当課長や労働局の担当者等が加わっていることで、行政の協力が得やすい点は、本事業における最大のメリットであり、利点を生かして今後も事業を進めていく。

5. その他取り組み

てんかん診療支援拠点機関の役割として、複数診療科、多職種による包括診療を行う環境整備が求められており、当院では医師、看護師、コメディカル等多職種をメンバーとするてんかんセンター運営委員会を年3回開催している。また、複数科の医師、コメディカルが参加するてんかん症例カンファレンスを週1回実施しており、今年度てんかん症例に関するカンファレンスは2月までで40回ほど実施された。参加者は現在8施設、延べ40名程となっており、てんかん診療に関わる複数科の医師らが集まり、意見交換やスキルアップを行う場を設けている。

また、てんかん診療でも問題となる小児科から大人の科へのトランジションについては、支援拠点病院での対応や、地域医療へつなげていく体制について、小児科、総合診療科、SW、コーディネーターを交え検討を重ねてきた。

6. 今後の課題

神奈川県は人口923万人に比して専門医の数は少なくかつ偏在しており、未だ県内のてんかん医療の均てん化には課題を残している。また神奈川県内の専門医の診療科は49名中小児科33名、脳神経外科7名、脳神経内科6名、精神科3名と偏りがあり、大人を診る専門医の数は特に少ない。

横浜、川崎地区から離れた県央、県北、湘南地区からの相談は多く、今後も引き続き県内の医療連携体制の構築に力をいれ、てんかん患者が適切な医療を等しく受けられるような環境を検討し整備していく必要がある。

(資料4)

【同時開催】難治てんかん患者さん個別WEB相談会

【日時】▶▶▶ 2023年3月21日(水・祝) 13:00~15:15
Zoomウェビナー・オンライン開催
後日申込者限定YouTubeオンデマンド配信実施予定

研修会 13:00~14:00
座長 高本 謙雄 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長
講師 伊藤 達 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長

公開講座 14:15~15:15
座長 一瀬 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長
講師 山本 仁 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長

講演1「我が国における大麻由来医薬品と大麻由来薬物の治療に係る国会質疑と政府の答弁について」
講演2「カンナビジオールによる薬剤抵抗性てんかんの治療」

申し込み▶▶▶ 専用QRコードからアクセスしてお申し込み下さい

【お問い合わせ】聖マリアンナ医科大学 脳神経科 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生
電話:044-977-8111(内線0005) メール:nenkan@stmc.ac.jp

難治てんかん患者さん個別WEB相談会※Zoom使用 研修会・公開講座とは別窓で必ずお申し込み下さい

主催: 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生
協賛: 神奈川県 脳神経科 部長 伊藤 達 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生
後援: 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生

(資料5)

3月26日はてんかんの啓発キャンペーン「パープルデー」です

神奈川県内6つの施設をライトアップしててんかんに苦しむ方へ応援の気持ちを伝えます。

【点灯日・時間】
1. 川崎マリエン 3/20~26 日没~21時
2. 江の島マリンランド 3/20~27 日没~22時
3. 大船崎天主堂 3/26 日没~20時
4. 文華館 3/20~26 日没~翌朝
5. 道の駅ハーブ 3/20~26 日没~翌朝
6. 神奈川銀行 3/20~26 日没~20時

WEB てんかんの研修会・市民公開講座
3.21 check!▶▶▶

主催: 神奈川県てんかん医療・社会連携協議会 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生
協賛: 神奈川県 脳神経科 部長 伊藤 達 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生
後援: 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 部長 伊藤 達 先生
連絡先: 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生 伊藤 達 先生
電話: 044-977-8111(内線0005) メール: nenkan@stmc.ac.jp

(表1)

てんかん医療・社会連携協議会構成

		所属先・推薦団体等	役職（職種等）
1	拠点機関	聖マリアンナ医科大学病院	特任教授・小児科 てんかんセンター 顧問
2		聖マリアンナ医科大学病院	准教授・脳神経外科 てんかんセンター副センター長
3		聖マリアンナ医科大学病院	主任教授・小児科 てんかんセンター センター長
4		聖マリアンナ医科大学病院	主任教授・脳神経内科 てんかんセンター 副センター長
5		聖マリアンナ医科大学病院	准教授
6	てんかん治療に関わる医療従事者	川崎市立多摩病院	教授・小児科部長
7		日本医科大学武蔵小杉病院	病院教授・精神科
8		神奈川県立こども医療センター	神経内科部長
9		重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎	副施設長・小児科
10		横浜医療福祉センター港南	診療支援部長
11		横浜市立大学附属病院	主任教授 神経内科学・脳卒中医学 神経内科・脳卒中科部長
12		てんかんと発達の横浜みのもる 神経クリニック	院長
13		北里大学病院	講師・小児科
14		原クリニック	院長
15		東海大学医学部付属病院	講師・脳神経内科
16	地域医療	神奈川県医師会	理事
17	労働問題	神奈川県労働局 職業対策課	地方障害者雇用担当官
18	社会福祉	てんかん診療支援コーディネーター (聖マリアンナ医科大学病院)	社会福祉士
19	当事者・家族	日本てんかん協会	当事者
20		日本てんかん協会	家族
21	（精神保健福祉センター、県政令市、保健所代表者を含む）	神奈川県健康医療局保健医療部	精神保健医療担当課長
22		川崎市総合リハビリテーション推進センター	所長
23		川崎市健康福祉局障害保健福祉部精神保健課	課長
24		横浜市健康福祉局障害福祉保健部 精神保健福祉課	課長
25		相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部 精神保健福祉課	課長